

1968

海面埋め立てによる
企業誘致を内定
『広報はりま』にて、川崎重工、
川崎製鉄の進出内定を報じた。



1968

大中遺跡第1次整備
遠い弥生時代の暮らしをより多くの
人に知ってもらえるように、発掘した
住居跡を盛土し、芝生を植えて復元
した。

第1回町民文化祭が
開催される
明るいまちづくりをモットー
に、住民の文化活動の向上に
積極的に取り組んだ。



1968

特設消防隊を設置
激増する人口に、万一の災害に備えるため、機
動性にも優れる特設消防隊を設置した。

1966



1964

オリンピック聖火が走る
東京オリンピック聖火リレーが、本
町を通過する様子。悪天候の中、無
事に明石側に引継ぎを終えた。

“僕らの秘密”が大発見へ
大中遺跡は、考古学好きの播磨中学校
の3人の生徒が発見し、まち中が沸い
た。写真は本格化した発掘調査の様子。



1962



1962

町制施行当時の議員
播磨町が町制施行し記念写真に収まる当時の議員。
背景の播磨町役場の看板が真新しい。

1969
昭和44年

2月
本荘地先人工島（新島）
の造成開始

1968
昭和43年

9月
第1回町民文化祭開催

1967
昭和42年

6月
大中遺跡が国の史跡指定
を受ける

1966
昭和41年

10月
特設消防隊を設置する

1965
昭和40年

9月
台風23号が姫路市西部に
上陸、本町に災害救助法
第1号が発動される

1964
昭和39年

2月
東播磨港が重要港湾に指
定される
8月
人口1万人を突破

1962
昭和37年

4月
町制を施行し「阿閑村」
から「播磨町」になる
6月
大中遺跡発見
12月
発掘調査始まる

大気汚染の
測定が開始される
産業都市として発展する
反面、住民生活に害が及
ぶ危険も…。綿密なデー
タで大気汚染を警告した。



1968

町道本荘土山線道路
補修工事風景
土の道路からアスファルトの道路へ。
都市整備が進められた。



1967

昭和40年頃の古宮海岸
写真奥に阿閑（あえ）漁港。写真手
前に古宮漁港が見える。



1965

台風23号による
豪雨の大被害
風速60mに及び台風23号が、姫路
市西部に上陸。一瞬にして県下一円
に大きな爪跡を残した。



1965

自衛隊による給水活動
台風23号によって被害を受けた地域
に、自衛隊が派遣された。（五反田住宅）



1965

大中遺跡第2次発掘調査で
多数の土器群を発見
50cm方眼に糸を引き10分の1の縮尺で実
測するのに、3人で1週間かかった。



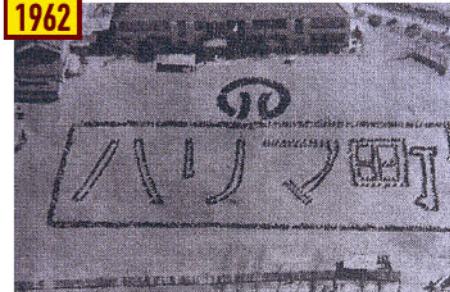
1963

播磨町広報を創刊
応募総数400点に近い力作の中から播
磨町の新たな顔となる町章の発表が掲
載された。



1962

町制施行記念の人文字
播磨中学校の生徒による人文字が
描かれた。



1962



未来へ向かう 60年のあゆみ

1978

蓮池保育園の鯉のぼり

昭和50年に人口2万人を突破。年々増え続ける人口総数は、まちの元気の象徴。

中央公民館が完成

住民の親睦を図るため、生涯学習の活動、芸術・文化振興の場としての利用に期待が膨らむ。

明姫幹線と土山新島線 浜国道の混雑緩和へ

明姫幹線は、明石から姫路を結ぶ新動脈幹線。浜国道(当時の国道250号線)の混雑緩和が期待された。写真は開通する明姫幹線。

1978

1976

蓮池小学校が開校

急激な人口増加に伴い、播磨小学校の教室不足を解消するため、町内に小学校を新設した。

1974

1974



新設された歩道で 安心の登下校

自動車の通行量増加を見越し、通勤通学が多い場所に、安全性を考慮して歩道を設置した。

野添地区 土地区画整理事業が始まる

写真は昭和59年に区画整理が完了した野添地区。蓮池小学校が見える。

1971



播磨大橋開通式

人工島を結ぶ播磨大橋の開通式が挙行された。

公害防止協定を締結

播磨地域の大气汚染を受け、公害防止協定を県・市・町・対象企業間で締結した。

1970



1970



1979

昭和54年

1978

昭和53年

1977

昭和52年

1976

昭和51年

1975

昭和50年

1974

昭和49年

1973

昭和48年

1972

昭和47年

1971

昭和46年

1970

昭和45年

10月 総合体育館、テニスコートが完成
4月 播磨南中学校が開校
播磨幼稚園が現在の地へ移る
3月 野添コミュニティセンターが開館
播磨町基本構想を策定
野添城地区土地区画整理事業が完了

4月 中央公民館が開館
町民プールがオープン
7月 明姫幹線(町内部分)、土山新島線一部開通
12月 第3浄水場が完成

4月 簡易水道の統合が完了、上水道が完全町営化される

4月 播磨西小学校が開校
播磨西幼稚園が開園

3月 塵芥処理センターが完成
8月 東新島埋め立て工事が完了
9月 人口2万人を突破

3月 し尿処理場が完成
野添城地区土地区画整理事業が始まる
4月 蓮池小学校が開校
野添地区土地区画整理事業が始まる
9月 播磨大中国古代の村が開園

3月 新庁舎が完成
4月 蓮池幼稚園が開園
11月 環境保全条例を制定

3月 新島埋め立て工事が完了
山陽新幹線が岡山まで開通
4月 蓮池保育園が開園

3月 市街化区域、用途地域を決定
9月 同和教育基本方針を策定
11月 東播磨港開港

3月 播磨大橋が開通
4月 町営による上水供給開始
5月 公害防止協定を締結

1979



総合体育館が完成

前年7月にオープンした町民プールとともに、待望のスポーツセンターが完成。

1975



ヒコ生誕碑を建立

播磨ライオンズクラブが結成10周年を機に、「新聞の父ジョセフ・ヒコ」の生誕地記念碑を建立した。

簡易水道の統合が完了 上水道完全町営化へ

安全・安心な水を安定供給するため、第3浄水場の建設工事が始まった。昭和53年12月完成。



1977

竣工した野添 コミュニティセンター

「新しいふるさとづくり」のため、各地域のコミュニティセンターを拠点とした組織づくりが進められた。

1979



1973



新庁舎が完成 式典に300人

播磨町住民が約16,000人となり、町制10周年の節目に役場の新庁舎が完成した。

1972



山陽新幹線が 播磨町を走る

全貌をあらわした人工島

『広報はりま』昭和46年1月号に掲載された人工島(後の新島)。その広大な敷地に今後のまちの発展に大きな期待が寄せられた。

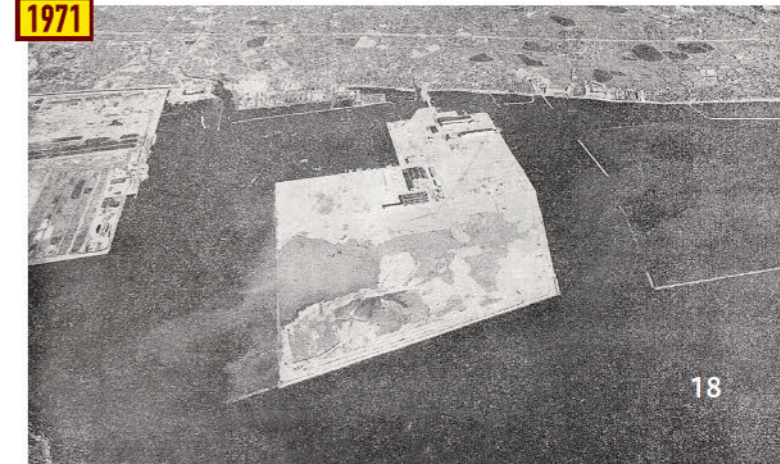
1974



播磨町に名物誕生

「新しいふるさとづくり」を提唱し、公民館まつりを初開催。5,000人が参加し、新旧住民が交流した。

1971



町制30周年記念
ファミリーマーチ開催

家族連れなど200人が参加し、「であいのみち」や大中遺跡など町北部の文化財を中心に散策した。



1992

1992



「共に生きよう
ふれあいのまち宣言」
モニュメントが完成

人権尊重のシンボルとして、当時、人権啓発カレンダーでおなじみの永田萌さんが原画を製作。



1992

電気自動車を導入

県下で西宮市、神戸市についで3例目の導入。「環境にやさしい」をアピール。

1987



本荘駅(現播磨町駅)
地下道が開通

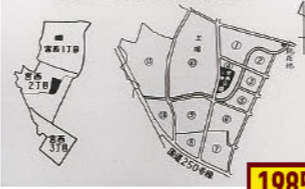
踏切を気にすることなく、安全に通行できるようになった。

1985

郷土資料館が開館

郷土の歴史に関する資料、大中遺跡の出土品などを展示。

宮西二丁目街区案内図



1985

町内で初めて
住居表示がスタート

郵便などの配達や救急車の要請などスムーズに対応できるようになった。



1985

昭和60年

1984

昭和59年

1983

昭和58年

1982

昭和57年

1981

昭和56年

1980

昭和55年

1991

平成3年

1989

平成元年

1987

昭和62年

1986

昭和61年

10月 加古川下流流域下水道通水式
9月 加古川市消防署に直通化
8月 望海公園に野外炊飯場が開設
3月 都市提携を締結
中国天津市和平区と友好

7月 喜瀬川が「ふるさとの川モデル河川」として指定を受ける
3月 新塵芥処理センターが完成
4月 「共に生きようふれあいのまち宣言」モニュメントが完成

11月 緊急通報システムが稼働
5月 稲美斎場「ひじり苑」が完成
4月 山陽電車「本荘駅」から「播磨町駅」に名称変更
3月 播磨町総合計画(第2次)を策定
デザイナーサービスセンターが完成

4月 「共に生きようふれあいのまち宣言」を行う
3月 緑道「であいのみち」が開通

3月 本荘駅地下道が開通
新し尿処理場が完成

5月 加古川総合保健センターが完成
11月 郷土資料館が開館
宮西地区で初めて住居表示を実施

6月 加古郡シルバー人材センターを設立
3月 防災行政無線が完成
町営住宅建て替えが完了
喜瀬川右岸に「ふれあい遊歩道」が完成
人口3万人を突破

4月 県立播磨南高等学校が開校
3月 野添地区土地区画整理事業が完了
1月 別府鉄道廃止

4月 播磨南小学校が開校
12月 図書館が開館
4月 「核兵器廃絶のまち宣言」を行う

4月 福祉会館が完成
播磨北小学校が開校

10月 播磨町総合計画(第1次)を策定
4月 加古川夜間急病センターが完成
播磨町総合計画(第1次)を策定



1992

「ご来光のつどい」
元日の朝には、新島の岸壁に家族連れやカップルなど多くの人が集い、健康と幸運を祈る。

1,600発の花火に感動
町制施行30周年を記念して望海公園南側で花火大会を開催。歓声や拍手が沸きあがった。

1992



緑道「であいのみち」
が開通

別府鉄道の軌道跡地を利用し、JR土山駅から大中遺跡を結ぶ緑の回廊として整備。



1988



整備された本荘駅前
(現播磨町駅前)

平和のまちを象徴するモニュメントを建立。

1989



しんゆ
新井の橋を渡る
児童

日常の何気ないシーンも、いつまでも残しておきたいふるさとの記憶。写真は播磨北小学校の児童たち。



1986



時の変遷が見られる
大中遺跡周辺

発掘された住居跡に住居を復元し、歴史学習、憩いの場として活用される。

1986

さよなら別府鉄道

60余年の歴史に幕をおろし、線路跡地は「であいのみち」に。機関車と客車は郷土資料館に展示されている。



1984

1982



「核兵器廃絶のまち宣言」
3月27日に播磨町町制施行20周年記念式典を挙げる。町木に「松」・町花に「菊」、住民憲章を制定。

1982



図書館が開館

オープン当日には約1,800人、翌日には約1,900人が詰めかけた。当時では最先端のコンピュータが導入された。



2003

はりまシーサイドドームがオープン

雨の日でも利用できる全天候型多目的広場として、古宮浜緑地にオープン。



2000

健康いきいきセンターがオープン

温水プールや浴室、サウナ、トレーニング室、スタジオを備え、会議室も完備。



加古川市東消防署 播磨分署が開署

消防、救急、救助活動や訓練、災害の警戒防御などの業務が行われ、住民生活の安全と安心確保に貢献。



1997

天津市和平区 訪問団来町

平成5年に中国天津市和平区と友好都市提携を締結。訪問団が各小学校を友好訪問。



1996

弥生時代へタイムスリップするもうひとつのふるさとのまつり

今年度から播磨町の特性を活かそうと、「ふるさとまつり」から「大中遺跡まつり」を独立し開催した。



2002

播磨町駅北メディカルフロアの診療開始

山陽電車播磨町駅北側の「セフレ播磨」の一部を町が取得し、医療機関を誘致。



2000

ライマ市姉妹都市協会 訪問団が来町

国際交流・姉妹都市提携の実現に向けて、アメリカ・オハイオ州より来町。



1996

阪神・淡路大震災

600件以上の救援物資、1,430万円の義援金(当時2月10日現在)を募る。たくさんの方々が被災地に届いた。写真は、野添城に建設が進む仮設住宅。



1995

2004

平成16年

2003

平成15年

2002

平成14年

2001

平成13年

2000

平成12年

1999

平成11年

1998

平成10年

1997

平成9年

1996

平成8年

1995

平成7年

1994

平成6年

9月

JR土山駅北広場が完成

8月

JR土山駅南広場が完成
郵便応募型条件付一般競争入札の試行

7月

「さわやかパトロール隊はりま」が活動を開始

6月

野添であい公園がオープン
水田川(県道明石高砂線)微笑橋区間の遊歩道が完成

4月

播磨ふれあいの家(愛称「多々良木山荘」)がリニューアルオープン

1月

石ヶ池公園がオープン
はりまシーサイドドームがオープン

12月

JR土山駅橋上駅舎が完成

10月

播磨町駅北メディカルフロアでの診療開始

10月

蓮池池幼稚園新園舎が完成
第3次播磨町総合計画を策定

5月

播磨町駅北地区整備事業に着手
塵芥処理センターがISO14001の認証を取得

4月

水田川排水ポンプ場が完成

10月

蓮池池幼稚園新園舎が完成
第3次播磨町総合計画を策定

4月

加古川市東消防署播磨分署が開署

3月

蓮池保育園新園舎で保育開始
「であいの塔」内に子育て支援センターを開設

2月

福祉しあわせセンターがオープン
健康いきいきセンターがオープン

10月

米田川排水ポンプ場が完成
新西部コミュニティセンターが開館

3月

米田川排水ポンプ場が完成
新西部コミュニティセンターが開館

4月

野添北公園(であいの森)がオープン

3月

水田川(県道本荘平岡線)から加古川市境が開通
秋ヶ池運動場がオープン

6月

東播磨ケーブルテレビ(後のBANBANネットワークス)が開局

4月

水田川の改修工事が本格化
特別養護老人ホーム「あえの里」が開設

3月

ゆうあいプラザが完成
上水道第3配水池が完成

12月

播磨町国際交流協会を設立
本荘雨水ポンプ場通水式

4月

「喜瀬川ふるさとの川整備計画」が認定される

8月

播磨町国際交流協会を設立
本荘雨水ポンプ場通水式

7月

播磨町国際交流協会を設立
本荘雨水ポンプ場通水式

4月

阪神・淡路大震災が発生
加古川歯科保健センターが完成

1月

加古川地域保健医療情報システムが本稼働

10月

老人福祉計画を策定
中国天津市和平区の小中学校と友好提携を締結

5月

「播磨ふれあいの家」が朝来町(現在の朝来市)に完成
南部コミュニティセンターが開館

3月

加古川地域保健医療情報システムが本稼働

2004



新しいまちの玄関 JR土山駅南広場

路線バスや企業の送迎バス、タクシー、障がい者用の乗降口を備えたロータリーが完成した。

野添であい公園がオープン 楽しい噴水が人気

緑道「であいのみち」と喜瀬川が交差する位置に、緑の芝生が広がる開放的な憩いの公園がオープン。親子連れや若者たちが集う。



2004

2000



子育て支援の拠点「であいの塔」が完成

蓮池保育園と蓮池幼稚園の間に子育て支援棟「であいの塔」が完成。少子化や核家族化、女性の社会進出など、変化する子育て環境をサポートする子育て支援センターを併設。

トライやる・ウィーク 始まる

地域に学ぶ中学生・体験活動週間として、学校生活だけではできない貴重な体験をする。

1999



第1回播磨町環境フォーラム開催

地球温暖化防止のためにフォーラムを開催。暮らしの中から身近な環境を考えた。



1998

まちづくり委員会が提言

自然環境改善や施設整備、人づくりなど播磨町に対する重要なまちづくり提言がされた。

大型帆船「日本丸」がやってきた

日本最大の帆船「日本丸」が新島公共埠頭に停泊。さわやかな風が心地いいひととき。

1996





2012

であいのみち
「歴史との“であい”
ミュージアムロード」
としてリニューアル

歴史上のできごとを記した6つのタイムトンネルゲートと、25mごとに100年さかのぼるマイルストーンを配置。

中学校で
学校給食始まる

旬の食材や季節感を活かした料理、郷土食などを取り入れながら、成長期の生徒たちに栄養バランスのよい、安全安心に配慮した給食を提供。



2011



2010

「いせきくん」と「やよいちゃん」
着ぐるみデビュー

大中遺跡まつりで、播磨町のマスコットキャラクター「いせきくん」「やよいちゃん」が着ぐるみとなって初お目見え。



2006

南部子育て
支援センターが開設

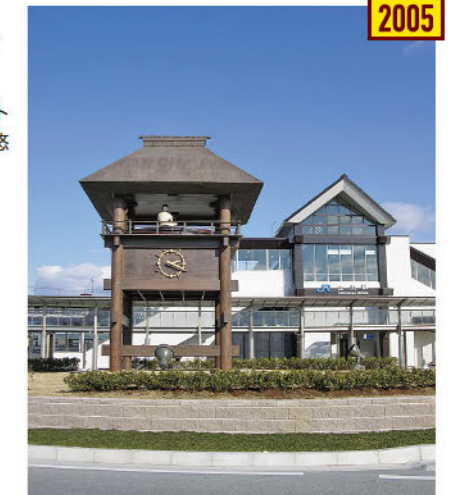
子育て中の親子や地域の方々との交流の場となる、地域に根ざした子育て支援の拠点。

播磨町消防団に
女性分団が誕生

播磨町で初めて募集した播磨町消防団「女性分団」の結団式。明るく元気な女性分団が誕生した。



2006



2005

まちの新たなシンボル
物見やぐらが完成

JR土山駅南広場にモニュメントが完成。古代から輝く未来へ悠久の時を奏でる。

2012

平成24年

2011

平成23年

2010

平成22年

2009

平成21年

2008

平成20年

2007

平成19年

2006

平成18年

2005

平成17年

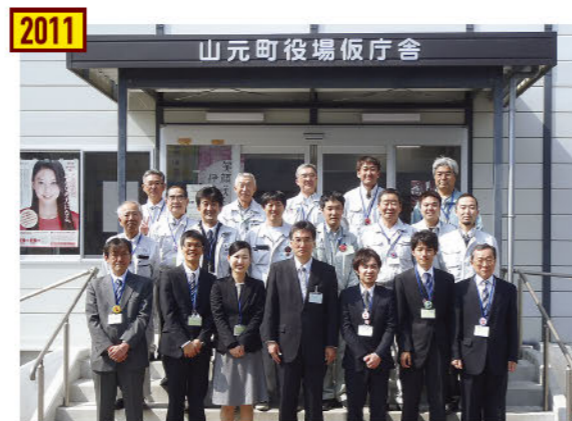
- 2012 12月 「彦星」誕生(ジョセフ・ヒコの名前を小惑星に命名)
- 2012 6月 図書館開館30周年記念講演会開催
- 2012 4月 学童保育を公設化、指定管理者による運営を開始
- 2012 3月 「であいのみち」が「歴史とのであいミュージアムロード」としてリニューアル
- 2011 4月 「ふるさと歴史カルタ」が復刻
- 2011 3月 中学校給食がスタート
- 2011 3月 東日本大震災が発生
- 2011 4月 防災行政無線デジタル化の更新が完了
- 2011 4月 第4次播磨町総合計画を策定
- 2010 11月 プレミアム商品券はりま町「景気賞福券」を発売
- 2010 7月 町のマスコットキャラクター「いせきくん」と「やよいちゃん」の着ぐるみがデビュー
- 2010 5月 播磨西幼稚園園舎を改築
- 2010 4月 緑のカーテンプロジェクトがスタート
- 2010 4月 県立東はりま特別支援学校地域連携交流施設がオープン
- 2009 7月 県立東はりま特別支援学校が開校
- 2009 4月 プレミアム商品券はりま町「景気賞福券」を発売
- 2009 9月 JR土山駅南自転車駐車場がオープン
- 2008 8月 緊急地震速報装置を公共施設に設置
- 2008 8月 全小中学校の耐震工事が完了
- 2008 5月 JR土山駅南自転車駐車場がオープン
- 2007 12月 播磨北小学校が閉校
- 2007 10月 大中遺跡公園がオープン
- 2007 9月 県立考古博物館がオープン
- 2007 3月 町議会のインターネット生中継を開始
- 2007 8月 消防団に女性分団が結成される
- 2006 4月 町施設に指定管理者制度を導入
- 2006 4月 南部子育て支援センターが開設
- 2006 11月 消防団に女性分団が結成される
- 2005 10月 JR土山駅西自転車駐車場が完成
- 2005 9月 郷土資料館開館20周年記念特別展「心に生きる別府鉄道」が開催
- 2005 9月 役場の組織改革により、理事制・グループ制が導入される
- 2005 2月 JR土山駅南広場にモニュメントが完成



2012

「ふるさと歴史カルタ」
が復刻

昭和60年に教育委員会が発行したものを町制施行50周年を記念して復刻。



2011

東日本大震災

被災地支援のため、宮城県山元町に町職員を派遣した。(2013年と2017年)

県立考古博物館が
オープン

誰もが主役として博物館の活動に参加できる、新しいスタイルの参加体験型博物館が開館。



2010

県立東はりま特別支援学校
地域連携交流施設がオープン

地域住民が「出会い」、「活動」し、連携と交流を深める。



2007

収穫祭として大中遺跡まつりを実施

夏に実施していた大中遺跡まつりを、この年から秋の収穫祭として行う。



2005

播磨町町制施行
50周年記念式典

町に功労のあった人に表彰と感謝状を贈り、50周年の節目を祝った。



2012

**TOKYO2020
パラリンピック聖火
「播磨町採火式」**
弓ぎりを使って「播磨町大
中古代の火」を採火した。



**戦没者追悼
平和祈念式を挙**
戦没者追悼式の新しい形と
して、戦没者の霊を追悼し、
平和を祈る式として挙

**帆船「日本丸」が
寄港**
町制施行55周年記念として
21年ぶりに日本丸が寄港。



2015

**イタリア・ミラノ万博で
播磨町をPR**
ジョセフ・ヒコ等の映像を
交えて播磨町をPRした。



「全国女性町長サミット」開催
全国の女性町長が一堂に会し、すべ
ての女性が活躍できる地域社会を目指
して、アピール宣言を行った。



2014

**土山駅南
イルミネーション開始**
商工会と町内の金融機関の協力で実現した。

2022
令和4年

5月4日

可燃ごみ中継センターが完成
2市2町で広域ごみ処理開始
播磨町町制施行60周年記
念式典
「協働のまちづくり宣言」を行う

2021
令和3年

8月7日

TOKYO2020パラ
リンピック聖火「播磨町採火
式」を開催

2020
令和2年

11月9日

播磨町くらし・お店応援
クーポン券を発行
大中遺跡まつり代替イベン
トを開催

2019
令和元年

10月1日

播磨町ふるさとPR大使
を委嘱
戦没者追悼平和祈念式を挙

2018
平成30年

5月1日

兵庫南農業協同組合・漁業協
同組合・商工会・播磨町の四
者で連携協定を締結
「はりまの海 きっずチャレ
ンジ」を開催

10月9日

「子育てカルタ絵本いきい
き家族」を復刻
帆船「日本丸」が寄港
全国女性町長サミットを開催

2017
平成29年

7月6日

播磨町町制施行55周年記
念式典
南部子育て支援センターに
芝生広場がオープン
土山駅西モニュメントが完成
第1回はりますくすくへ
ピーフェスタを開催

5月5日

播磨町町制施行55周年記
念式典
南部子育て支援センターに
芝生広場がオープン
土山駅西モニュメントが完成
第1回はりますくすくへ
ピーフェスタを開催

4月3日

播磨町紹介映像「まちがい
いききまらめくはりま」古
代から未来へ」公開
うみえーる広場がオープン
こども窓口を新設
BiVi土山と土山駅南
交流スペース「きっずなホー
ル」がオープン
第1回はりま風薫るフェス
タ開催

2016
平成28年

1月1日

播磨町紹介映像「まちがい
いききまらめくはりま」古
代から未来へ」公開
うみえーる広場がオープン
こども窓口を新設
BiVi土山と土山駅南
交流スペース「きっずなホー
ル」がオープン
第1回はりま風薫るフェス
タ開催

7月4日

町道浜幹線が全線開通
あえのはま広場がオープン
播磨小学校のプール一般開
放を開始
イタリア・ミラノ万博で播
磨町をPR

3月3日

町民プールが廃止
図書館に宮部文庫を設置
播磨町駅地下自由通路にエ
レベーターを設置
郷土資料館ジョセフ・ヒコ新
間発行150周年記念特別展
「ヒコの生涯と新聞史」が開催
土山駅南で「播磨町イルミ
ネーション」が開始

2014
平成26年

11月10日

町民プールが廃止
図書館に宮部文庫を設置
播磨町駅地下自由通路にエ
レベーターを設置
郷土資料館ジョセフ・ヒコ新
間発行150周年記念特別展
「ヒコの生涯と新聞史」が開催
土山駅南で「播磨町イルミ
ネーション」が開始

2013
平成25年

10月

東はりま大茶会が播磨町で
開催



2021

**新型コロナウイルス
ワクチンの接種を開始**
医療従事者や高齢者から順に、中央公民
館や町内の病院でワクチン接種を実施。



2019

**播磨町ふるさと
PR大使を委嘱**
町外に広く播磨町の魅力
を発信する活動を委嘱。



**海のふれあい事業
「はりまの海 きっずチャレンジ」**
子どもたちにクルージングを通して、海のある
播磨町に愛着を持ってほしいと願う開催。



2017

**BiVi土山と
土山駅南交流スペース
「きっずなホール」が
オープン**
駅前のにぎわいと、休憩や交流が
できる憩いのスペースを開設。



2016

土山駅西モニュメントが完成
レールを使ったフレームの中に、弥生人
が描いたスケッチを題材としたモニュ
メントを3基設置。

町道浜幹線が全線開通
安全な歩道のある道路が開通。



2015